

羅臼岳における携帯トイレ導入の取組について

これまでの主な経緯と近年のトピック

1. 羅臼岳登山道では携帯トイレの使用を推奨し、平成 21 年から仮設のテント式携帯トイレブースを設置し、販売や回収、普及啓発の点で関係者が協力して、携帯トイレの使用推進を図ってきた。
2. 平成 21～23 年にかけては、仮設の携帯トイレブースを 5～10 日程度設置・運用し、平成 24～25 年にかけては、ほぼシーズンを通して仮設のトイレブースを設置して運用を行った。
3. 平成 25 年のシーズン終盤（9 月）に、岩尾別ルート of 銀冷水に固定式の携帯トイレブースの整備を行った。
4. 平成 26 年シーズンにおいて、3 年ぶりに携帯トイレ利用状況に係るアンケート調査を行った結果、3 年前と比べて携帯トイレ導入に係る認知度、携帯トイレ持参率、携帯トイレ使用率は、いずれも 10～20%上昇し、携帯トイレの普及率が向上（野外での用足しが減少）し、普及が進んでいることが明らかとなった。